

## 2020 年度菊陽町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町では、主食用米の作付面積が年々減少しており、令和元年度は作付目安 152ha に対して作付面積 130ha と配分面積を下回っている。今後もこの傾向が継続すると想定されるため、水田機能維持と転換作物の支援を行っていく必要がある。

農業形態では水田作物を中心に露地野菜の作付が盛んで、特に人参は国の野菜指定産地を受けており、町の特産品として位置づけられている。また、本町では人口の増加が著しく、都市部の消費地に近いことから、農産物直売所やインショップ向けの様々な農産物も生産されており、特色ある産地作りを目指している。

また、近年は人参耕作者を中心に担い手への農地の集積が進む一方で、管理が困難な農地や、労働力不足が懸念されており、それらの農地や作業を補完する組織の育成、充実を推進し、持続性の高い農業を構築する必要がある。

### 2 作物ごとの取組方針等

持続性の高い農業の実現のため、生産基盤の整備を進めるとともに、町内の水田においては、産地交付金を活用しながら、人参を転作作物の中心として位置付け、農業者の所得増加、農作物の作付維持・拡大を図り、特色ある産地づくりを推進する。

#### (1) 主食用米

令和元年度は作付目安を作付面積が大きく下回っている現状であり、需要に応じた生産を図るため、今後とも経営所得安定対策等の取り組み状況を注視しながら、作付の維持・拡大を図る必要がある。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

産地交付金を活用し、担い手による作付拡大や多収品種の取組を支援し、需要に応じた作付の推進を図る。また、耕畜連携による水田の有効活用やわら利用の取組みを推進する。

##### イ 米粉用米

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

##### ウ 新市場開拓用米

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

##### エ WCS 用稲

管内に占める作付割合が高いことから、地域内の需給バランスを注視していく必要がある。また新規需要米の適正流通の観点から専用品種を推奨する。

## オ 加工用米

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

### (3) 麦、大豆、飼料作物

麦は、大麦「はるしずく」を中心に作付けを推進し、冬季に作付けのない圃場や期間借地への作付け推進により水田利用率の向上を目指す。

大豆については、圃場のローテーションを行い、連作障害の軽減による収量増加を推進する。また、産地交付金を活用し団地化の取組を支援することで、作付面積の維持・拡大を目指す。

麦、大豆いずれについても、地域の担い手への農地集積を促進し、生産性向上を図ると共に共同乾燥調製施設や農業機械の有効活用による、低コスト生産の取組支援を行い、水田利用率の向上を目指す。

飼料作物については、耕畜連携（ワラ利用）による国産飼料の供給維持に取組み、水田利用率の向上に資する支援を行っていく。

### (4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、水田活用の直接支払交付金を活用しながら、作付けを推進する。また、排水対策を推進し収量の安定化を図る。

### (5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金による園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、特に町の特産物であり、国の野菜指定産地を受けている「人参」を振興品目として支援を行い、作付拡大を図る。

### (6) 畑地化の推進

集落説明会等で取り組みの周知を図る。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付 面積 (ha)	当年度の作付予定 面積 (ha)	2020 年度の作付目標 面積 (ha)	2021 年度の作付目標 面積 (ha)
主食用米	130ha 704 t	130ha 704 t	143ha 779 t	130ha 704 t
飼料用米	3.5	5.0	10	10.0
米粉用米			5	
新市場開拓用米				
WCS 用稲	185	190	180	190
加工用米				
備蓄米				
麦	105	106	106	106
大豆	80	80	76	80
飼料作物	62	60	58	60
そば				
なたね				
その他地域振興作物	215	218	225	221
・人参	176	180	184	184
・野菜 (人参以外)	27	27	30	26
・花木・花木	2	2	2	2
・果樹	1	1	1	1
・その他野菜	9	8	8	8

※主食用米の作付予定面積（2020 年度）、目標値（2021 年度）において使用した単収は

542kg/10a

※主食用米の 2020 年度作付目標値において使用した単収は

545kg/10a

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019 年度	2020 年度
1	人参	重点品目作付助成 （基幹）	人参交付対象面積	176.7ha	184ha
2	大豆	団地化加算 （基幹・二毛作）	大豆団地化面積	44.6ha	37ha
			10a 当り収量	119.9 kg	170 kg
3	麦 大豆 飼料作物	二毛作助成 （二毛作）	二毛作面積	麦 38.5ha	麦 47ha
				大豆 57.4ha	大豆 45ha
				飼料作物 46.9ha	飼料作物 45ha
			水田利用率	108.1%	112%
4	飼料用米	多収品種加算 （基幹）	多収品種面積	飼料用米 3.5ha	飼料用米 10ha
			10a 当り収量	飼料用米 545.3 kg	飼料用米 530 kg
5	麦 大豆 飼料用米	担い手生産性向上加 算（基幹）	対象面積	麦 67.3ha	麦 62ha
				大豆 20.6ha	大豆 18ha
				飼料用米 3.5ha	飼料用米 8ha
			10a 当り収量	麦 331.0 kg	麦 371 kg
				大豆 119.9 kg	大豆 170 kg
				飼料用米 545.3 kg	飼料用米 530 kg
6	飼料用米	耕畜連携への助成 （わら利用の取組） （基幹）	取組面積	3.2ha	10.0ha
			取組割合	3.9%	6.0%
7	人参を除く野菜、 花き・花木、果 樹、その他作物	地域振興作物助成 （基幹）	対象面積	38.6ha	48.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）